

より利便性の高い運行の実現等について

J R 山陰本線は、沿線住民のみならず、ビジネスや観光利用など鳥取県中部地区全体の地域経済活性化及び交流人口拡大には欠かせない存在となっています。本協議会としましても、鳥取県中部地区の情報とあわせて、特急「スーパーはくと号」による移動の快適性・利便性についてインターネットを媒体とした情報発信や、スーパーはくとを利用した旅行商品の造成支援など、J R 線、智頭線を利用した誘客促進に取り組んでいるところです。

については、これらの取り組みにあわせて、より快適性・利便性の高い運行を実現していただくよう、以下のとおり要望します。

- (1) 新型コロナウイルス感染症における対応に目処が立ち次第、特急「スーパーはくと」号を全便再開していただきたい。また、新型コロナウイルス感染症対策が実施され、安全・安心に鉄道を利用できることを広く P R していただきたい。
- (2) 鳥取駅発着の特急「スーパーはくと」号、及び特急「スーパーいなば」号の時刻に合わせ、ストレスなく乗り継ぎができるよう、倉吉方面から、或いは倉吉方面への特急列車「スーパーまつかぜ」、快速列車「とっとりライナー」について、接続の利便性を高めた運行をしていただきたい。
- (3) 特急「スーパーはくと」号の由良駅停車中の騒音対策について、由良駅における停車時間がより短くなるよう調整していただきたい。
- (4) 特急「スーパーはくと」号運行時の普通列車通過待ち時間を短縮していただきたい。
- (5) 快適な利用環境の促進、地域における I T 化推進のため、西日本旅客鉄道株式会社米子支社において管理されている駅に「I C 専用型改札機」などのキャッシュレス決済システムを早期に導入いただきたい。
- (6) 人口減少が進展し労働人口が減少していく中であるが、鉄道利用において、介助が必要な方や不慣れな方が不便を感じないように、対応できる駅員の配置を継続していただきたい。

(7) 中部地域の駅の利便性確保のため、適切な施設管理を継続していただきたい。

(8) オンラインシステムへの切替えや駅員の配置時間の変更の際には、住民周知に十分な期間が取れるよう、早期段階において市町へ正確な情報提供をしていただくことを継続していただきたい。

令和3年11月17日

J R線・智頭線中部地区利用促進協議会
会 長（倉吉市長） 石田 耕太郎

中部地区行政振興協議会
会 長（倉吉市長） 石田 耕太郎